



リリースノート- VTR Xchange 4.0

新機能

- ・新しいオーディオルーティングによってマルチチャンネル出力をサポート
- ・バッチキャプチャ機能の追加
VTR Xchangeにはクリップのロギング機能は搭載されていません。すでに存在しているバッチリスト（FlexまたはALEファイル）からのみバッチキャプチャが可能です。
- ・アップルスクリプトをサポート
- ・23.98 fpsのムービーファイルを29.97 fpsまたは59.94 fpsでの再生が可能に

改良と修正点

- ・メインウィンドウの機能強化
キャプチャ中にRP-188とLTCタイムコードがメインウィンドウに表示されるようになりました。
- ・ユーザーインターフェイスの最適化
 1. トランスポートボタンがキーボード操作を反映するようになりました。
 2. 720p59.94のタイムコードを正しく表示するようになりました。
 3. Windowメニューに“Double Size”（⌘2）“Fit to Screen”（⌘3）が追加されました。
 4. ループ再生にショートカット（⌘L）が追加されました。
 5. “Preference”ウィンドウに“Open captured files”チェックボックスが追加されました。
キャプチャしたムービーを自動的にVTR Xchangeで開きます。